

国公立大学学長 殿

筑波大学大学研究センター長
徳 永 保
(公印省略)

Rcus大学マネジメントワークショップ「自校理解がマネジメント力を高める」の開催について

当センターでは、平成12年度より大学マネジメント人材の養成を目的とした多様な研修会を実施しており、その一環として、今後ますます重要性が高まると考えられるテーマを設定し、専門家による講演を通じて理解を深めるとともに、グループワークを通じて獲得知識の活性化をはかることを目的とするワークショップを開講しています。このワークショップは、平成21年度に創設した履修証明プログラム「大学マネジメント人材養成」の1モジュールとして開設されているもので、多くの大学関係者の皆様にも参加いただけるよう、広く案内をさせていただいています。

今年度のワークショップでは、IRや自校史教育などの活動を通じて関心が高まっている「自校理解」をテーマとして取りあげ、別紙実施要領のとおり実施いたします。つきましては、本テーマに関心のある教職員の方がおられましたら、下記により推薦いただきますようお願いいたします。

なお、応募者多数の場合は当センターにおいて、大学設置者や地域バランス等を総合的に判断して参加者を決定させていただきますので、お含みおき願います。

選考の結果については、2月初旬にお知らせいたします。

記

1. 応募の条件

- (1) 他の大学を含め、大学教員及び事務職員（専任）として5年以上の経歴があり、かつ勤務成績が優秀であること。
- (2) 大学において業務改善や問題解決プロジェクトに取り組んでいるか、または興味・関心を持っている者。
- (3) レポート、ディスカッションなどを想定しているため、これらの作業に積極的に取り組むことができる者であること。

2. 推薦書の様式

別添のとおり

(<http://www.rcus.tsukuba.ac.jp/> からダウンロード可)

3. 推薦期限

平成28年2月1日（月）（厳守）

4. その他

本ワークショップの参加費は無料ですが、情報交換会への参加費として2,000円いただきます。

本件に関する問い合わせ先

筑波大学大学研究センター 菊池 秀子

電話:03-3942-6304 fax: 03-3942-6310

E-mail: rcus-ump@un.tsukuba.ac.jp



Research Center for University Studies

大学マネジメントワークショップ

自校理解がマネジメント力を高める

実施要領

1. ワークショップの趣旨

18歳人口の減少や教育研究のグローバル化、財政危機などの環境変化を受けて、我が国の大学に対して、ガバナンスやマネジメントの強化を通じた改革の進展が強く求められています。組織・制度面での改革とならんで、そこで強く求められているのが、高度化するマネジメントを担う大学職員の養成です。

日常的な業務改善からはじまり大規模な問題解決プロジェクトに至るまで、その成否を大きく左右するのが自校のおかれた現状に関する幅広い理解です。あらゆる部署におけるあらゆる業務において、データに裏付けられた的確な自校理解が、PDCAサイクルを成功に導くうえで大きな役割を果たします。あるいは、不確実性を伴う、自校の将来を左右する重要な意思決定を行う場面も増えています。そこでの的確な判断を下すことがことができるようになるべく、我々は、今日まで時間をかけて積み上げられてきた自校のアイデンティティについて、その歴史を通じて学ぼうとしているのです。

大学職員が高度化するマネジメントを担っていくためには、自校に関する理解を深めそしてそこで得られた情報を有効に活用することが、より一層求められるのではないかと。このような問題意識から、今回のワークショップでは「自校理解がマネジメント力を高める」というテーマを設定しました。

2. 開催時期

平成28年2月13日（土） 13時00分～18時00分（18時より情報交換会）

平成28年2月14日（日） 9時00分～16時00分

3. 募集人員

大学職員 20名程度

（なおこのワークショップには、今回募集する定員に加えて、履修証明プログラム「大学マネジメント人材養成」の受講者も参加します）

4. 開催場所

筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京都文京区大塚3-29-1、東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅 下車2分）

5. 日程および講師

第1日目 (2月13日)

- 12:30～12:55 受付
- 13:00～13:05 開講式
- 13:05～13:20 ワークショップ「自校理解がマネジメント力を高める」趣旨説明
加藤 毅 筑波大学大学研究センター 准教授
- 13:20～14:00 講演 経営課題に応える自校研究 ～自校発見が経営を強化する～
劉 文君 東洋大学IR室 准教授
- 14:00～15:00 講演 経営課題に応える自校史
～歴史が大学のアイデンティティを構築する～
塚原 修一 関西国際大学 客員教授
国立教育政策研究所 名誉所員
- 15:00～18:00 グループ討論
- 18:00～19:30 情報交換会

第2日目 (2月14日)

- 09:00～09:40 講演 自校情報をいかにして活用するか ～グッドプラクティスに学ぶ～
大川 一毅 岩手大学評価室 教授
- 09:40～12:30 グループ討論および成果発表準備
- 13:30～15:50 成果発表会
ゲスト・コメンテータ
村上 義紀 氏 (元早稲田大学常務理事)
上杉 道世 氏 (大正大学理事長特別補佐)
角方 正幸 氏 ((株) リアセック キャリア総合研究所 所長)
横田 利久 氏 (関西国際大学事務局長・理事)
- 15:50～16:00 閉講式

6. グループ討論の課題

- (1) 各大学における特徴的な自校情報とその活用状況について、事例発表とまとめを行う。
- (2) マネジメントの強化に向けて、自校情報を収集・活用するための有効方策について検討を行う。

7. 事前課題

参加者には、事前に

- ①自身が勤務する大学の特筆すべき長所と経営上の重要課題、およびその裏付けとなるデータ
- ②自身が勤務する大学の在り方に最も強い影響を及ぼしている、自校史上の出来事や人物
- ③自身が勤務する大学の組織文化や風土
- ④自身が勤務する大学における、自校情報の活用状況

について、A4一枚程度にまとめていただきます。まとめた内容について、初日のグループ討論のなかで報告していただきます。

Rcus大学マネジメントワークショップ「自校理解がマネジメント力を高める」参加者推薦用紙

筑波大学大学研究センター長 殿

(大学名)

(推薦者職・氏名)

下記のとおり、適任者を推薦します。

平成____年____月____日

氏名(ふりがな)		性別	男	女
年齢 (いずれかに○)	34歳以下	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳以上
所属・職				
主な職歴				
参加者の期待と抱負等	① 日常の業務を遂行するうえで、心がけていることや、意識している課題等			

参加者の期待と抱負等

② 本ワークショップに対する期待

本人連絡先	電話	Fax
	E-mail	
事務担当者氏名 連絡先	所属・職	
	氏名	
	電話	Fax
	E-mail	

本推薦用紙に記載された個人情報はワークショップ実施にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

申込先

郵送：〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1

筑波大学大学研究センター事務室

FAX：03-3942-6310 E-mail：rcus-ump@un.tsukuba.ac.jp

(E-mailで申し込む場合は、上記の様式にとらわれることなく、必要項目をすべて記載いただければ結構です)